第三講・説明的文章①

◆「こそあどことば」と「つなぎことば」

(1)　こそあどことば

「これ」「それ」などの、物やことがらを指ししめすことばを「こそあどことば」といいます。説明文などでは、「こそあどことば」を使って、同じことばを何度もくり返す必要がないように書かれています。ですから、文章の内容を正しく読み取るためには、「こそあどことば」の指ししめす内容を正確にとらえる必要があります。

○「ぼくは、春休みに新かん線に乗って仙台に行った。作文の時間に、春休みに新かん線に乗って仙台に行ったことを書いた。」

↓

○「ぼくは、春休みに新かん線に乗って仙台に行った。作文の時間に、そのことを書いた。」

(2)　つなぎことば

つなぎことばは、ことばとことば、文と文、段落と段落をつなぐはたらきをします。どんなつなぎことばが使われているかによって、前後の内容がどんな関係になっているかがわかります。

① 文やことばをならべる…および・ならびに
② 文やことばをつけ加える…そのうえ・それから・なお・しかも
③ 前の文の結果をあとの文で表す…したがって・ゆえに・すなわち・だから・それで
④ 前の文とぎゃくのことをあとの文で表す…ところが・けれども・しかし・だが
⑤ 前の文に説明をおぎなう…つまり・なぜなら・たとえば・ただし
⑥ 前かあとのどちらかを選ぶ…または・それとも
⑦ 話題をかえる…さて・ところで・ときに

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

植物の葉を食べる昆虫の幼虫が、あるきまった種類の植物しか食べないことは、古くから知られている。カイコはクワしか食べないし、モンシロチョウの幼虫は、アブラナ科植物の葉しか食べない。①それはなぜかという研究も、昔からおこなわれていた。

アメリカのフレンケルという人は、いろいろな植物の葉の成分を分析して、タンパク質やアミノ酸、炭水化物、脂肪というような栄養分についていえば、どの植物でもほとんど差がないこと、［　　］、昆虫はどの植物を食べても、栄養的にはちゃんと育つはずであることを知った。

②それなのに、なぜ虫たちはえりごのみをするのだろうか？　それは、直接には栄養と関係のないことだが、葉のにおいがちがうからだ、とフレンケルは考えた。

フレンケルのこの考えは、その後しだいに正しいことがわかってきた。いくつかの虫では、そのにおいがあれば食べ、それがなければ食べないという物質が何であるか、かなりのところまでつきとめられているし、③そういう物質には、幼虫の＊味覚受容器がとくに敏感に反応することもよく研究されている。

そんなわけで、幼虫のえりごのみの原因が、植物の葉にふくまれているにおいにあることがわかってくると、チョウの親が卵を産むか産まないかも、やはりにおいによってきまるのだろうと、一般には考えられるようになっている。

（日高敏隆「チョウはなぜ飛ぶか」）

＊味覚受容器＝味の感覚を感じる器官。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　――線①「それ」の指している内容を文中から三十四字でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

[　][　][　][　]～[　][　][　][　]

問二　[　]にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　つまり　**イ**　ただし
ウ　けれども　**エ**　それとも

[　]

問三　――線②「それなのに」と同じはたらきをするつなぎことばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　つまり　**イ**　または
ウ　さて　**エ**　しかし

[　]

問四　――線③「そういう物質」とはなんですか。文中から二十八字でさがし、その初めと終わりの四字を書きぬきなさい。

[　][　][　][　]～[　][　][　][　]

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①みなさんは、ねんどというと、どんなものを思いうかべますか？　色のついた、ゴムねんどや小麦粉で作ったねんどでしょうか。［Ａ］、紙をまぜてあつかいやすくした紙ねんどでしょうか。

ねんどは、もともとは土だけでできたもので、ここでお話するのも土のねんどについてです。

土は、おもに石がこまかなつぶつぶに分解してできたもので、その性質はいろいろです。たとえば関東地方では、春さきの風の強い日などには、目をあけられないほどの、ひどい土ぼこりがたちますが、これは、関東ロームとよばれる火山灰が多くまざった土のためです。火山灰は、つぶつぶが軽く、水をくわえてもすぐにしみこんでしまいます。そして、かわくとまた、もとのばらばらの土にもどってしまいます。

ねんどは、ふつう火山灰よりもさらにこまかいつぶの土ですが、水をくわえてねり合わせると、ねばりけをもち、かたちによくまとまり、そして、かわくとかたく固まる性質があります。②だから、ねんどを多くふくむ土地では、雨がふるとぬかるんでツルツルすべり、日でりが続くと、ほこりもたたないほどカチカチに固まります。

日本では古くから、③このようなねんどの性質を、生活のなかに利用してきました。たとえば家の土間がそうです。土間というのは、ゆかをはらずに地面をむき出しにした部屋です。土間は、ねり合わせたねんどをたいらにしき、すこしかわいたところで、*ツチでたたいて固めて作ります。最近ではあまり見られなくなりましたが、すこしまえまでは、古い民家にはかならず土間がありました。農家では、土間でいろいろな仕事をしたり、馬や牛を飼ったものです。

また、日本ではほとんど例がありませんが、中近東（サウジアラビア付近）の乾燥した地方では、日干しレンガを使って家をつくることもあります。日

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

干しレンガというのは、ねんどでレンガのかたちを作り、④それを日でかわかしただけのものです。また、南米のアマゾン河の流域の原住民＊2などは、日でかわかしただけのねんどの食器を使っています。

このような⑤ねんどをかわかしただけの食器やレンガは、だれにでもかんたんに作れますが、こわれやすく水がもれやすいという欠点があります。ですから日干しレンガは、地震がなく、しかも雨の少ない地方でしか使われませんし、日干し土器も、すぐこわれることをかくごのうえで、つぎつぎに作り、使いすてています。

日干しのレンガや土器は、しっかり固まっているようにみえても、少しは水分をふくんでいるし、また、目に見えないほどの小さなすきまがたくさんあいています。［B］、ちょっと力をいれてらんぼうにあつかうとすぐこわれるし、水につけるとすきまに水がはいり、もとのねんどのつぶにとけてしまいます。

（神崎宣武『やきもののはなし』）

＊1ツチ＝柄のついた、物をたたく道具。ハンマー。
＊2原住民＝その土地にもともと住んでいた人々。

問一　――線①「みなさんは、ねんどというと、どんなものを思いうかべますか？」とありますが、この文章はどんなねんどについて説明したものですか。文中から五字で書きぬきなさい。

□□□□□

問二　［　］A・Bにあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　さらに　**イ**　しかし　**ウ**　それとも
エ　ですから　**オ**　では

A［　］　B［　］

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　――線②「だから」と同じはたらきをするつなぎことばを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　そのうえ　**イ**　それで
ウ　あるいは　**エ**　つまり

問四　――線③「このようなねんどの性質」について、次の(1)・(2)に答えなさい。

(1)　「このようなねんどの性質」とは、どんな性質を指していますか。文中から四十九字でさがし、その初め(はじ)と終わりの四字を書きぬきなさい。

〜

(2)　(1)の「ねんどの性質」を、生活のなかに利用した例を文中から三字以内で三つ書きぬきなさい。

問五　――線④「それ」は何を指していますか。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問六　――線⑤「ねんどをかわかしただけの食器やレンガ」の長所と短所をそれぞれ書きなさい。

長所	
短所	

問七　この文章の内容と合わないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

ア　火山灰は、つぶつぶが軽く、ふつう、ねんどよりあらいつぶである。

イ　すこしまえまでは、日本の古い民家には土間があり、農家ではそこで仕事をしたり家ちくを飼ったりしていた。

ウ　日干しレンガを水につけると、すきまに水がはいるので、さらにかたく固まる。

エ　アマゾン河の流域の原住民は、日干し土器を使用しているが、すぐこわれることをかくごして使っている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　説明的文章①

一題目

問一　植物の葉　～　ないこと

問二　ア

問三　エ

問四　そのにお　～　いう物質

二題目

問一　土のねんど

問二　A…ウ
B…エ

問三　イ

問四　(1)　水をくわ　～　まる性質
(2)　土間・レンガ・食器（別解　土器）（順不同）

問五　（例）ねんどでレンガのかたちを作ったもの。

問六　長所…（例）だれにでもかんたんに作れる。
短所…（例）こわれやすく水がもれやすい。

問七　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。